

構成市町村

伊南行政組合事務局
昭和伊南総合病院
伊南衛生センター

☆駒ヶ根市

☎ 82-8003
☎ 82-2121
☎ 82-3973

☆飯島町

http://inangyousei.org
http://www.sihp.jp
伊南聖苑 ☎ 82-5985

☆中川村

☆宮田村

伊南行政組合議会5月定例会が5月25日に行われました。

宮田村議会構成替えに伴う組合議会構成替えが行われ、副議長に川手三平さん(宮田村)が再選されました。新しい議会構成は次のとおりです。

(以下 敬称略)

議長 松澤 文昭 (中川村)

副議長 川手 三平 (宮田村) ※



副議長
川手 三平 さん
(宮田村)

総務衛生委員会 (9人)

◎ 宮脇 寛行 (飯島町)
○ 中島 和彦 (駒ヶ根市)

○ 小原 晃一 (駒ヶ根市)
○ 小林 敏夫 (駒ヶ根市)

伊藤 秀明 (飯島町)

松澤 文昭 (中川村)

松村 利宏 (中川村)

伊南行政組合議会5月定例会開催
副議長に川手氏再選 議会構成一部変更

川手 三平 (宮田村) ※
久保田秀男 (宮田村) ※

病院厚生委員会 (8人)

◎ 氣賀澤葉子 (駒ヶ根市)
○ 中塚礼次郎 (中川村)

池田 幸代 (駒ヶ根市)

中山 万宝 (駒ヶ根市)

今堀 雷三 (駒ヶ根市)

吉川 順平 (飯島町)

坂本 紀子 (飯島町)

小林 宏美 (宮田村) ※

議会運営委員会 (6人)

◎ 氣賀澤葉子 (駒ヶ根市)
○ 吉川 順平 (飯島町)

中島 和彦 (駒ヶ根市)

宮脇 寛行 (飯島町)

中塚礼次郎 (中川村)

小林 宏美 (宮田村) ※

(◎ 委員長 ○ 副委員長)

氏名の下※は構成替えにより選考された議員です。

提出案件

【議案第4号】

伊南行政組合行政手続条例の一部を改正する条例

【議案第5号】

令和8年度伊南行政組合病院事業会計補正予算(第1号)

右記の2議案を提出し、いずれも全会一致で可決されました。

～ 伊南聖苑からのお知らせ ～

8月13日(木)・8月16日(日)
が休業となります

※墓参者用駐車場の開放
7 / 16(木)～ 8 / 16(日)



昭和伊南総合病院新病院建設基本計画を 改定し、整備スケジュールを見直しました

伊南行政組合昭和伊南総合病院では、令和2年8月に基本構想、令和5年2月に新病院建設基本計画を策定し、新病院建設事業を進めてきました。

しかし、コロナ禍を経て病院を取り巻く状況が大きく変化しました。当初の基本計画においても人口減少による患者数の減少は想定していたものの、コロナ禍後の入院・外来の患者数は想定以上に減少しました。

全国的にも赤字の病院が増加し、

多くの病院が厳しい経営状況に置かれる中、昭和伊南総合病院も令和5年度までは黒字を保っていたものの、令和6年度の決算は赤字となりました。

また、全国的な建築費の急激な高騰や労務費の上昇により基本設計の概算事業費が当初の基本計画時に比べ大幅に増額となりました。そこで、直近の患者受療動向や病院の経営状況を踏まえ基本計画を見直しました。

これからの伊南地域に相応しい病院を目指します

コロナ禍後の入院患者数を基に人口動態から将来推計入院患者数を推計すると、当初基本計画時より少なく推移することが想定されます。

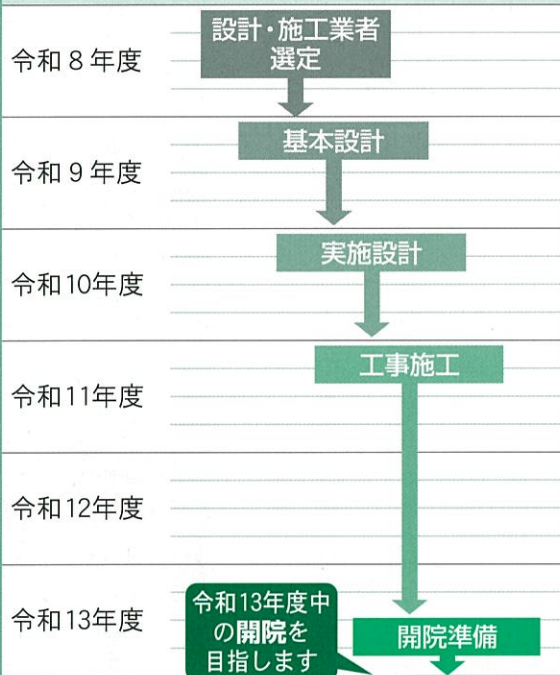
そこで新たな将来推計入院患者数を基に病床規模を160床とし、また将来の人口減少に柔軟に対応できるように、病室は個室と4床室の複合で整備する方針としました。今後、改定した基本計画を基に新病院建設を進めます。

令和8年度中に設計施工業者を選定し、令和9年度に基本設計に着手、最終的に令和13年度中の開

今までの経過

平成26年2月	第2次経営計画後期計画において新病院建設を計画
平成30年12月	住民アンケート実施
令和元年11月	昭和伊南総合病院あり方検討委員会より「建て替えを伴う再整備が必要」との提言書が提出される
令和2年8月	新病院建設基本構想を策定
令和4年8月	建設候補地を公表
令和5年2月	新病院建設基本計画を策定
令和5年10月 ～ 令和6年9月	新病院建設基本設計 → 資材・労務費の高騰により概算事業費が大幅に増額
令和6年11月	新病院基本計画の見直しに着手
令和8年2月	新病院基本計画を改定
令和8年5月	新病院整備手法・整備スケジュールを見直し公表

今後の予定（整備スケジュール）



病床数	160床
一般病床	100床
HCU	4床
地域包括ケア病床	26床
回復リハ病床	30床
病室形態	個室と4床室の複合
延べ床面積	14,820㎡
構造	耐震構造
ヘリポート設置場所	地上
総事業費(概算事業費)	187.8億円

院を目指して整備を進めます。

高騰している事業費に対応するため、建設費や維持費を抑えた設計・施工を目指しつつも、長野県が策定を進めている地域医療構想との整合を図りながら、上伊那医療圏や近隣医療圏の医療機関などとの連携・役割分担を更に進め、伊南地域に必要な医療機能を備えた病院を建設します。

当初の基本計画から規模、開院時期などが変更となりましたが、地域医療を支える持続可能な病院とするため、ご理解をお願いいたします。